

まちの話題



天瀬

Amagase



香り高い秋バラに囲まれて

五馬市のローズヒルあまがせでは、秋バラが見頃を迎えた。今年も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年行われている「バラフェア」は開催できなかったが、ハウス内には約300品種、2,000株以上のバラが咲き誇っている。バラを見に訪れた人たちは、秋深まる五馬の台地で、バラの花と香りを楽しんでいた。



思ってたより簡単！

10月15日、出口コミュニティセンターでマイナンバーカードの出張申請が行われた。これは、事業所や自治会などの団体に市職員が出向き、写真撮影と申請を受け付けるもの。当日は住民11人が申請に訪れた。参加者からは「こんなに簡単だったら、はよすりゃよかった〜」との声が聞かれた。カードは後日、書留等で申請者に郵送される。



上津江

Kamitsue



五穀豊穰に感謝して

10月20日、川原地区の川原大神宮で川原祭りが開催され、和やかな雰囲気の中、神事が行われた。また、24日には雉谷地区で雉谷天満宮祭りが開催され、神事に続いて、野菜の競りや地元野菜を使った鍋などが振る舞われた。

どちらの祭りも、この一年の健康と自然の恵みに感謝し、来年の豊作を祈願した。



一生懸命がんばりました！

10月2日、すぎっ子こども園となかつえ保育園合同の「つえっこ運動会」が、すぎっ子こども園で開催された。9月から何度も合同練習を行い、園児総勢12人でかけっこやダンス、鼓笛など練習の成果を一生懸命に披露した。親子競技の障害物走やダンスでは、競争したり協力し合ったりしながら競技を楽しみ、保護者も一緒になって会場を盛り上げた。

前津江

Maetsue



前津江町人権講演会

10月28日、前津江公民館集会所で前津江町人権講演会が開催され、19人が参加した。講師に大分県人権問題研修講師の山本政信氏を招き「部落差別問題と男女共同参画社会について」という演題で講演が行われた。山本氏は「人と人を比較するのではなく、人を尊重し、人を認めることは、差別のない社会をつくる第一歩」と参加者に語りかけた。



初めての釈迦岳登山

10月16日、まえつえジュニア倶楽部のメンバー13人が釈迦岳登山を行った。紅葉にはまだ少し早かったが約1時間で釈迦岳山頂に到達。休憩後、隣接する普賢岳まで移動し昼食を楽しんだ。釈迦岳登山は全員が初めての経験であったが参加した子供たちは「疲れたけど楽しかった」「きつかったけど景色もよく、みんなと一緒に楽しかった」と話していた。



道の駅リニューアルオープン！

11月6日、(有)かみつえグリーン商事が運営する道の駅せらぎ郷かみつえの生産物直売所と食堂の施設改修が一部終了し、営業が始まった。プレオープンイベントでは記念品が配られ、高畑龍之助社長が「道の駅は重要な地域の拠点。がんばって運営したい」と話した。地元住民をはじめ多くの方が、広くきれいになった店内で買い物を楽しんだ。



地域や人のつながりを大切に

10月27日、上津江町出身の元警察官で口演家として活躍している井上杉夫さんを講師に、人権・男女共同参画講演会が開催され、39人が参加した。警察官時代の経験を踏まえて、コロナ差別や老老介護、地域の課題等について、笑いを交えながら津江弁で分かりやすく話した。地域や人のつながりの大切さを実感した講演となった。